

看護研究交流会 ～看護の魅力を伝える～

2月18日(土)に「看護研究交流会」を開催しました。学内午前176名、午後117名、学外36名、学生6名の参加がありました。午前は、口演6題、示説9題の看護研究の発表を行い、日頃の成果を発揮されました。

午後の講演は、テーマを「現在そして未来の看護職へのメッセージ」として元看護部長の中嶋英美江氏をお招きしました。シンポジウムでは、臨床工学技士長・八木克史氏、内分泌代謝内科・山崎真裕氏、がん性疼痛看護認定看護師・藤本早和子氏、看護学科准教授・光木幸子氏に「看護の魅力」をそれぞれの立場から語って頂きました。講演・シンポジウムのお話は参加されたみなさんが、自分の看護を思い返す機会になったのではないのでしょうか。



最後に「循環型教育システムによる看護師育成プラン」の報告会を行いました。プランの概要と教育インストラクター育成プログラムの取り組みを報告しました。その後の質疑応答では、今年度教育インストラクタープログラムを受講された方の中から3名の看護師に、学んだことやそれぞれの課題を話して頂きました。学んだことを部署に還元し、後輩育成について考えておられることは大変心強く感じました。

看護研究交流会を無事に終えることができました。ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。

ジェネラリスト研修 テーマ別研修「看護管理」

2月20日(月)にジェネラリスト研修とテーマ別研修「看護管理」の報告会を行いました。

看護記録の見直し、部署に必要なマニュアルの作成など、一年間取り組んできた内容・結果について報告を行いました。質疑応答後、参加された各部署の師長さんにコメントを頂きました。最後に、テーマ別研修「看護管理」の方には、学外講師の先生から講評を頂きました。

ジェネラリスト研修の参加者のなかからリーダー5名を決め、C4病棟の受講生が中心となりこの研修を運営してくれました。お疲れ様でした。



大先輩のご講演を聴かせていただき、確かに、府立の温かな看護観は受け継がれていること、そして、これは一つの貴重な「文化」でもあると改めて感じました。この文化を大切に受け継いでいきたいです。また、他職種からみた「看護の魅力」を聞いて新たな発見もありました。(参加者の感想)

受講生の感想

日々の業務からジェネラリストの方々のするどい視点で、より良い看護を目指して取り組まれた苦労と努力の結果が凝縮された報告会でした。スタッフの協力から得られたものであり、この取組みが病棟・院内全体につながっていけば良いと思いました。



受講生の感想

キャリア支援スタッフ委員会との兼任であり大変なこともありましたが、この研修があることで新人看護師と自分の変化を確認しながら進めることができたと思います。(テーマは、「プリセプターとして新人に関わった1年を振り返って」でした。)



お知らせ

平成24年度プリセプター研修

平成24年度のプリセプターおよびキャリア支援スタッフ委員の方が対象です。各部署から1名は参加して頂きますようお願いいたします。

日時：3月21日(水) 13:30～16:30

場所：南臨床講義棟

内容：看護部の教育理念・方針・体制・キャリア支援について
リフレクションについて 他

採用前研修

平成24年度新規採用予定者を対象に研修を行います。ご協力よろしくお願いいたします。

日時：3月5日(月) 13:00～16:30

3月7日(水) 13:00～16:30

(座談会は13:15～14:00)

場所：臨床講義棟1階 スキルスラボ 第3講義室

*看護技術演習と先輩看護師(1年目)との座談会を行います。

看護実践能力調査ご協力をお願い

一昨年より、看護職員を対象に毎年1回「看護実践能力調査」を行っています。今年も2月22日の師長会を通じて各部署へ配布いたしますので、ご多忙な中ではありますが、ご協力をお願いいたします。

この調査は、個々の看護職が様々な経験を重ねながら看護実践能力を高めていくための取り組みや教育計画に活用することを目的としています。調査用紙を受け取り後、ご回答していただき封筒に入れ、封をして部署毎に提出してください。

師長さんへのお願い：部署でまとめて、3月7日までに管理2の回収BOXへ提出をお願いいたします。

新規採用看護職員研修

日時：4月2日(月)～4月6日(金)

4月17日(火)、5月15日(火)

全て8:00～16:45

*上記の日程で行います。ご協力をお願いいたします。